

神奈川特命子ども地域アクター養成アクション
第7回かながわ子どもの地域参画推進会議事録

日時：平成24年11月11日 10時～12時

場所：県立青少年センター研修室1

出席者

NPO 法人ミニシティ・プラス	理事長	三輪律江	
NPO 法人ミニシティ・プラス	副理事長	岩室晶子	
NPO 法人ミニシティ・プラス	理事	中聡美	
NPO 法人ミニシティ・プラス	会員	杉山昇太	
NPO 法人ミニシティ・プラス	会員	松田香	
神奈川県	県民局青少年部青少年課グループリーダー		中野篤子
神奈川県	県民局青少年部青少年課副主幹		平野真理子
神奈川県	県民局青少年部青少年課		鈴木かおり
NPO 法人	横浜プランナーズ・ネットワーク理事		内海宏

《12月2日の成果発表会についての検討》

1. チラシ配布先について

- ・チラシは5000部印刷

(1) 配布先について

- ・アクターの出身の学校に配布
- ・横浜全域の学校に送ったほうがいい。教師回覧をしてもらうことを希望。

→県域の公立・私立の中学校・高校に配布。

案内状はアクターの自校とそうでないもの、2パターン用意する。(担当：三輪)

- ・説明会に参加した団体。
- ・Facebookのイベントを作成、招待。
- ・県の施設へ配布依頼。
- ・市民活動支援課に配布依頼。
- ・地域の子どもの居場所・拠点などに配布依頼。
- その他会議体のメンバーの協力のもと、告知を進める。
- ・その他アクターの保護者あてに送る。

2. 12月2日のフォーラム内容について

(1) 活動報告シアター

- ・どういう流れで行動したか、団体の大人とアクター寸劇を行う。ただ、取材など内容によっては形態を変えるので、各団体によって変わる予定。詳細はレジュメに掲載。
- ・回る舞台利用、アクターバンドの演奏も入れるステージングとなる。
- ・団体には発表に参加してもらう旨を連絡済み。
- ・弓矢やまちあるきキットなど、会場に持ち込めるものは、使用する。

・「大人」の役は、実際にまちづくり団体にやってもらう。事前にコメントを渡す。リハは当日必要なら行う。メモを持って舞台上がるのも構わない。団体の登場は各発表の時のみ。

- ・活動趣旨を最初に推進会議から行う。
- ・各団体の活動趣旨も必要に応じ、司会から行う。
- ・当日の司会進行もアクターが行う。希望するアクターにお願いする。
- ・内容が複雑なので、大丈夫か？
→舞台監督、照明、音響など重要な部分にプロを入れる。香盤表がしっかりできていればできる。

(2) パネルセッションについて

- ・団体・子どもに直接聞けるようにするのが趣旨。
- ・子どもがまちづくり団体に参加することで、団体に何がもたらされたか、子どもには何がもたらされたか、というテーマ。
- ・PCで各団体のスライドを流し、パネルでやったことを簡単に説明。
- ・子どもが「歩くパネル」形式にする。各ブースには大人が常駐。

3. すべての活動が終了したことでの報告

【振り返りシートについて】

- ・書いてある内容は、個人差があり、きっちり書けているアクターと、そうでない場合の差が大きい。一律にまとめづらい。
- ・現場はギリギリまで仕事があり、終了後、電車の時間、会場退場の時間等の都合で、その場で振り返りシートにじっくり記入する時間がない場合が多かった。
- ・以上の理由もあり、今後フォーラムまでにアクターに個別のヒアリングを行う。
- ・報告書に向けて、振り返りシートの分析は、個人単位で、活動の前後の比較などを行う。

(1) 活動で大変だったこと

- ・前日の欠席連絡が多かった。そのため、(少ない数ではあるが)当日アクターが行けなくなったこともあった。活動自体に支障はなくても、来れるはずが来なくなったというのは困る。
- ・団体から依頼される打ち合わせが予定より増えて、アクターの負担にならないか不安にならることもあった。
- ・イベント当日が天候で延期になり、アクター参加が少なくなってしまったものもあった。

(2) アクターについて

- ・高校3年生でもきちんと活動に参加していた。すでに推薦で合格が決まっている人もいる。
- ・アクターの中には、5回参加する人もいれば、1回しか参加できなかった人もいた。
- ・活動にいて団体の他の人に「ボランティアで来てるの?」と言われ、「違います、特命子ども地域アクターです。」と誇らしげに答える場面があり、「すごいね、かっこいい

ね」と言われている場面があった。アクターにも単なるボランティアではないという意識があったようでよかった。

(3) アクターへのヒアリング内容について

アクターへのヒアリング内容は以下とする。

- ・参加した活動について
 - ・会議の回数、講座の回数について、多いかすくないか
 - ・自分がなにを得たか、成長したか。
 - ・まちのためにこれからも大人になってもできそうなことが発見できたか？
 - ・改善すべき点はなにか
 - ・大人にいわれてうれしかったことは？
 - ・来年もアクターに参加したいか。その条件は？（交通費がでる、でないも含む） など。
- ・事前段階についても質問したい。まちづくりのいろは講座がどうだったか、会議は多かったか、時間帯は適切か、など。

(4) まちづくり団体へのヒアリングについて

- ・順番におこなっている。メールで送り、送り返してもらう。その後電話等でインタビューし補足。
- ・現在までの傾向として・・・「アクターを受け入れたことが本当によかったが、はじめてだったこともあり、100%生かしきれなかった。次回もぜひかかわっていきたいが、その際はもっと積極的に参加して欲しい。」「交通費を出しても来て欲しい」「交通費は出せないが来て欲しい」
- ・今後アクターとまちづくり団体のお見合い会をするときに、団体の条件を明確にし（交通費でるでない、スケジュール感、参加の方法など）マッチングすることが必要。